

① 本町の教育政策について

(1) 前回9月議会で全国統一学力テストについて質問いたしましたが、結果については質問した時点では文科省の集計ミスなどで、はっきりした結果が出ていませんでした。今回はすでに報道などで聞くところによると、本町の子どもたちは頑張って良い結果を出しているようですが、議会の場でも明らかにしていきたいと思えます。結果と今後の改善点などについて質問します。

(2) アクティブラーニングについて

今教育界で関心が持たれているアクティブラーニングについての考え方について今後の本町子供達にどの様な影響を及ぼすのか、質問します。

重ねて勝本教育長の今後の教育方針についても質問します。

(3) 本町の奨学金制度について

昨今、大学進学率の向上と共に、奨学金の貸与が増えております。この奨学金、返済の必要なものと、返済の必要が無いものとの2種類に分類されます。我が国では奨学金とひとくくりにされますが、返済の必要の無いものはほんの一部でほとんどは返済が必要のものです。しかしながら、奨学金はほとんどが借り入れた金額に利息まで付けて返済しなければなりません。まるで奨学金という学生ローンであります。この奨学金制度がいま社会問題化しています。学生から社会人となった時点で、奨学金のローンを抱えスタート時点で多額の債務をかかえており、毎月の返済に追われ、ひいてはそれが負担になり、結婚も出来無いか様々な格差社会そのものになって行きます。そのような中、本町の奨学金は利息がつかず、良心的な制度であると言えます。そこで本町の奨学金制度が今後拡充することが無いのか質問いたします。

② 本町の福祉問題について

2015年4月の介護保険法改正により、特別養護老人ホームの入所が原則「要介護3」以上ではないと入所出来ないようになりました。これにより、報道によりますと「特養」待機者が38都道府県で33万5千人から42%減ったとのことであります。本県では46%減、5284人から2846人との計算になります。介護度の改善による待機者の減少であるならば好ましい事ではありますが、単なる制度の改定によることで待機者が減少したのであるならば、消えた待機者はどの様になったのか様々考えられます、そこで本町の現状はどうか、待機者への措置はどのように考えているのか現状と、今後の改善点について質問します。関連して本町の地域包括支援システムが現在どこまで進捗しているのか質問します。